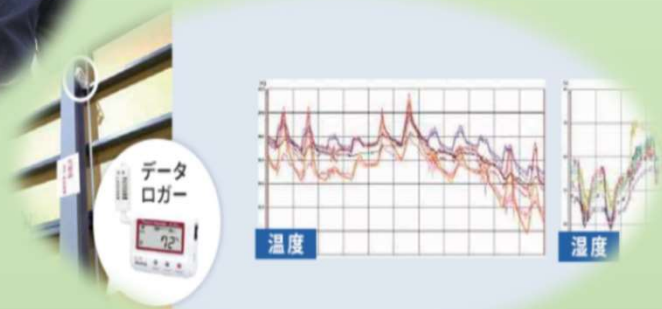


エコアクション21

環境活動レポート

(2021年4月1日～2022年3月31日)



作成：2022年5月28日

富士宮通運株式会社

目次

1. 環境経営方針
2. 事業の概要
3. 運営組織
4. 環境経営目標と実績
5. 2021年度 環境取組実施の結果
6. 2021年度 環境経営計画と評価
7. 2022年度 安全衛生委員会 年間予定
8. 2022年度 環境計画 取り組み予定
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認
及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無
10. 代表者による全体評価
11. 環境改善活動のようす

1. 環境経営方針

経営理念

- ・歴史の審判に耐えうる正々堂々の経営
- ・共生（ともいき）

基本方針

化粧品・健康食品・医薬部外品の製造加工を通じて『製造加工×ロジスティクス企業』として日本でNo.1企業を目指す。環境の変化に柔軟に対応、且つ、論理的・科学的手法により、顧客の課題を適切に解決できる専門性の高いソリューション・カンパニーを実現し、鈴与グループの基本方針でもある共生の精神に則り、環境にも最大限の配慮をし、物流と製造で地域社会に貢献する。

- (1) 事業運営にかかわる環境への影響を常に意識し、エコアクション21の認証・登録を受け、環境保全と持続可能な地域環境づくりの為に、SDGsに取り組みます。

- ①電力使用量の削減
- ②ガソリン使用量の削減
- ③水使用量の削減
- ④事務用紙使用量の削減
- ⑤リサイクルの推進
- ⑥DX（デジタルトランスフォーメーション）推進

- (2) 環境方針（教育）を全従業員に周知するとともに、社外へ公表します。
(3) 地域環境への取組を推進します。
(4) 環境関連の法令遵守を誓約します。

以上の方針達成のため、目標を設定し、定期的に見直し、環境経営を推進します。

制定日 2022年3月31日

富士宮通運株式会社

代表取締役社長 鈴木伸一 

2. 事業の概要

(1) 事業所名及び代表者名

富士宮通運株式会社

代表取締役社長 鈴木 伸一

(2) 所在地（エコアクション21対象）

本社 : 静岡県富士宮市南陵3-1

倉庫 : 南陵物流センター（富士宮市南陵3-1）

: 小泉倉庫（富士宮市小泉202）

: 自動倉庫（富士宮市小泉338-1）

: 第一倉庫（富士宮市北山字峯4875-5）

: 第二倉庫（富士宮市馬見塚348）

: 北山倉庫（富士宮市山宮上蒲沢2696-1）

製造加工 : 南陵本社製造工場（富士宮市南陵3-1）

: 牧之原工場（牧之原市坂口2027）

<2023年度対象予定> 2022年度はデータ収集とする。

富士山フロント工場（富士市富士市大淵字城山2027）

<対象外倉庫> ※顧客への賃貸倉庫のため、対象から除く

小林倉庫（富士宮市宮原457）

渡井倉庫（富士宮市馬見塚494）

田村倉庫（富士宮市小泉608-1）

中里倉庫（富士宮市中島町493-1）

遠藤倉庫（富士宮市前田町77）

土屋倉庫（富士宮市三園平758-1）

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境責任者 : 佐野尊信 (takanobu-s@fujinomiya-tsuun.co.jp)

環境副責任者 : 原賀妃都美 (h-haraga@fujinomiya-tsuun.co.jp)

事務局 : 石井優花 (yuka-i@fujinomiya-tsuun.co.jp)

連絡先 : (TEL) 0544-26-2111

(FAX) 0544-24-0326

ホームページ : <https://fujinomiya-tsuun.co.jp>

2. 事業の概要

(4) エコアクション対象事業

製造加工業（化粧品・健康食品・医薬部外品製造業）

倉庫業（一般貨物の保管管理）

(5) 事業の規模

設立 : 1951年2月

資本金 : 30百万円

従業員数 : 466名

売上 : 1,763百万円（2021年4月～2022年3月対象事業売上）

沿革：

1950年 運輸大臣の免許（自通第326号）により、鉄道貨物輸送
及び（自貨第545号）により、一般貨物運送事業を開始

1951年 富士宮通運株式会社 設立

1977年 東海海運局免許取得（東海倉91号、138号）倉庫業に拡張

2003年 鈴与株式会社のグループ会社となる

2004年 一般貨物運送事業を廃止し、自動車運送取扱事業を開始

2005年 化粧品製造業の許可を受け業務開始

2011年 健康食品製造業を開始

2015年 南陵物流センター建設に伴い、本社事務所移転

2018年 南陵本社工場にて、健康食品のGMP認証を取得

2019年 牧之原工場にて、化粧品製造業の業務を開始

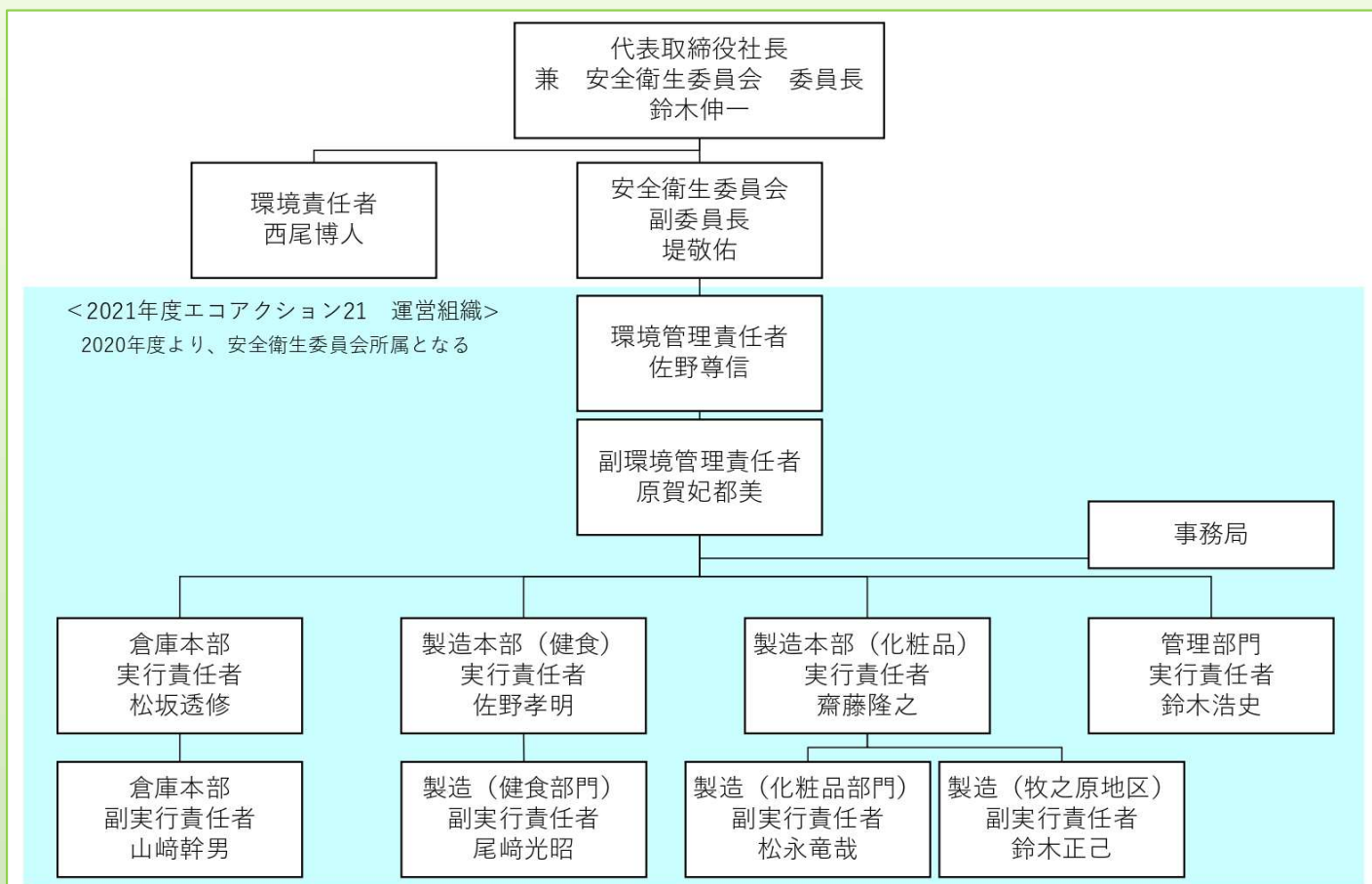
2020年 南陵本社工場にて、ISO22716（化粧品のGMP）認証取得

2021年 牧之原工場にて、ISO22716認証取得

2021年 南陵本社工場にて、医療機器製造業を登録

2021年 富士山フロント工場にて、健康食品製造業の業務を開始

3. エコアクション21 運営組織 <2021年度>



任務・責任・権限の内容

(1) 代表者

環境経営目標及び環境経営計画を承認する。環境経営システムの構築・環境経営目標・環境経営計画の実施に必要な人的・物的・財務的資源を用意する。環境管理責任者を任命する。経営の課題とチャンス の明確化を行う。

(2) 環境管理責任者

部門責任者に環境目標達成の為、自部署の管理及び改善について責任・権限を有し部内の周知徹底を図る。実行責任者より定期的に報告書の提出を義務付け、必要に応じ是正処置を実施させ環境活動の維持向上を図る。

(3) 実行責任者

年間活動計画を具体的に実施し、定期的に報告書を作成し、環境管理責任者に報告提出する。課員と連携し、環境活動の活性化を図る。

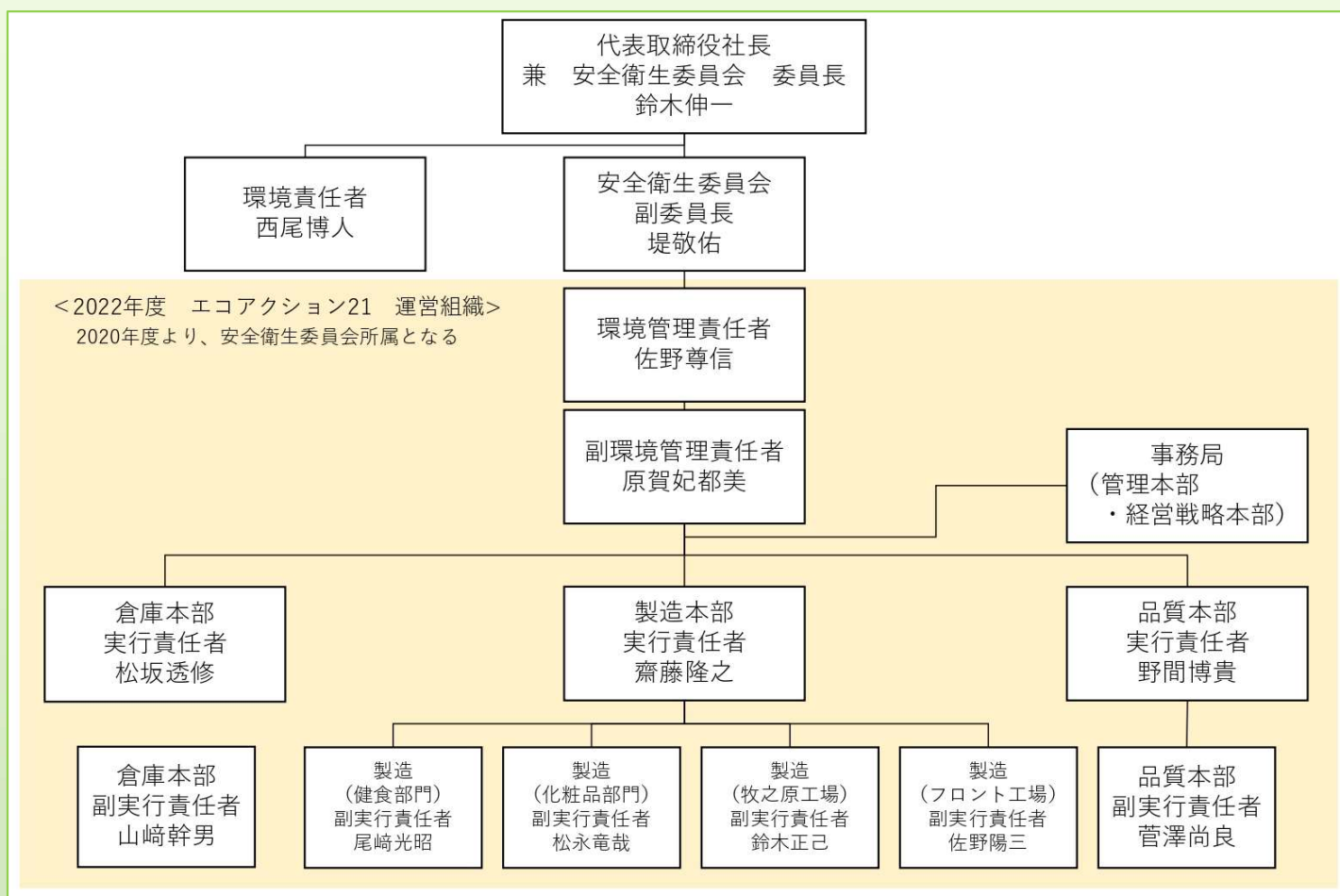
(4) 事務局

環境経営システムの構築・運用に関し環境管理責任者の補佐をする。環境管理責任者の指示により、調査検討を行う。環境経営システムに関する記録を保存する。

(5) 課員

環境経営活動に対し、維持・継続を図る。

3. エコアクション21 運営組織 <2022年度>



任務・責任・権限の内容

(1) 代表者

環境経営目標及び環境経営計画を承認する。環境経営システムの構築・環境経営目標・環境経営計画の実施に必要な人的・物的・財務的資源を用意する。環境管理責任者を任命する。経営の課題とチャンス明確化を行う。

(2) 環境管理責任者

部門責任者に環境目標達成の為、自部署の管理及び改善について責任・権限を有し部内の周知徹底を図る。実行責任者より定期的に報告書の提出を義務付け、必要に応じ是正処置を実施させ環境活動の維持向上を図る。

(3) 実行責任者

年間活動計画を具体的に実施し、定期的に報告書を作成し、環境管理責任者に報告提出する。課員と連携し、環境活動の活性化を図る。

(4) 事務局

環境経営システムの構築・運用に関し環境管理責任者の補佐をする。環境管理責任者の指示により、調査検討を行う。環境経営システムに関する記録を保存する。

(5) 課員

環境経営活動に対し、維持・継続を図る。

4. 環境経営目標と実績

(1) 従来目標に対する実績及び評価

<2021年度までの中長期目標>

※前年比-1%を目標とする

項目	単位	年間目標	基準年	2019年	2020年	2021年
		(前年比)	(2018年実績)	目標数値	目標数値	目標数値
電力使用料	kWh	-1%	840,094	831,693	823,376	815,142
CO2排出量	Kg-CO2	-1%	399,045	395,054	391,104	387,193
LPガス使用量	kg	-1%	11,137	11,026	10,915	10,806
CO2排出量	Kg-CO2	-1%	33,408	33,074	32,743	32,416
ガソリン使用量	ℓ	-1%	10,337	10,234	10,131	10,030
CO2排出量	Kg-CO2	-1%	23,982	23,742	23,505	23,270
水使用量	m3	-1%	1,616	1,600	1,584	1,568
廃棄物排出量	t	-1%	275.6	272.8	270.1	267.4
エコマーク商品購入促進	エコマーク商品購入を推奨					

<2021年度の目標と実績>

項目	単位	2020年	2021年	2021年	前年比	目標達成
		基準年	目標	実績		
CO2排出総量	Kg-CO2	511,699	-1%	528,666	+3%	×
電力使用量	kWh	996,484	-1%	1,014,041	-0.5%	×
※ CO2排出量	Kg-CO2	455,393		453,276		
LPガス使用量	kg	9,325	-1%	11,423	+23%	×
CO2排出量	Kg-CO2	27,974		34,269		
ガソリン使用量	ℓ	9,252	-1%	8,977	-3%	○
CO2排出量	Kg-CO2	21,465		20,827		
軽油使用量	ℓ	2,662	実績の把握	3,935	+48%	×
CO2排出量	Kg-CO2	6,867		10,153		
水使用量	m3	2,150	-1%	1,782	-17%	○
廃棄物排出量	t	333	-1%	379	+14%	×
エコマーク商品購入促進		47	エコマーク商品購入を推奨	40	-7%	-

※購入電力の排出係数は東京電力エナジーパートナー(株)の、実績CO2排出係数を使用。
2020年度：0.457(kg-CO2/kWh)、2021年度：0.447(kg-CO2/kWh)。

4. 環境経営目標と実績

(2) 目標未達成の要因

目標未達成の要因	電力使用量	原因	コロナ対策のための常時稼働機器（サーマルカメラやテレワーク用PCなどの電子機器等）の増設。DX・人員削減対策として進捗ボードやラベラー等工場の機械化を推進。売上が9%増と事業拡大も要因の一つ。
		是正	要/不要機器の管理による常時稼働環境の改善。メンテナンス保守体制の強化。
	LPガス使用量	原因	ほぼ、フォークリフトによる使用。事業拡大の為。
		是正	2021年度の実施状況を踏まえ、目標値の見直しを予定。
	軽油使用量	原因	本社の製造業を一部別拠点で行う場合があり、資材等を運ぶことが多発しており、2t車の利用が増大している為。
		是正	2021年度の実施状況を踏まえ、目標値の見直しを予定。
	廃棄物排出量	原因	事業拡大により、廃棄物排出量が14%増えた。
		是正	2021年度の実施状況を踏まえ、目標値の見直しを予定。

(3) 2022年~2024年度の中長期計画

※前年比-1%を目標とする

項目	単位	年間目標	基準年	2022年	2023年	2024年
		(前年比)	(2021年実績)	目標数値	目標数値	目標数値
電力使用料	kWh	-1%	1,014,041	1,003,901	993,862	983,923
CO2 排出量	Kg-CO2	-1%	453,276	448,744	444,256	439,814
LPガス使用量	kg	-1%	11,423	11,309	11,196	11,084
CO2 排出量	Kg-CO2	-1%	34,269	33,926	33,587	33,251
ガソリン使用量	ℓ	-1%	8,977	8,888	8,799	8,711
CO2 排出量	Kg-CO2	-1%	20,827	20,619	20,413	20,209
軽油使用量	ℓ	-1%	3,935	3,896	3,857	3,818
CO2 排出量	Kg-CO2	-1%	10,153	10,051	9,951	9,851
水使用量	m3	-1%	1,782	1,764	1,747	1,729
廃棄物排出量	t	-1%	379	375	372	368
エコマーク商品購入促進	エコマーク商品購入を推奨					

5. 2021年度 環境取組実施の結果

環境の取組 具体的取組項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	評価	担当部
電気使用量 削減	休憩時消灯/常時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	全社：安全衛生委員会
	フィルター清掃/年3回	○			○			○			○				
	冷暖房管理/夏期冬期				室内26℃で エアコン運転				室内22℃で エアコン運転						
ガソリン・LPG 使用量 削減	相乗り アイドリング禁止 /常時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		※乗車時・降車時に確認、必要に応じて声掛け実施													
水使用量 削減	蛇口の点検/年3回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		※5Sパトロールにて実施													
廃棄物 削減	外からのゴミ削減 コピー配布削減 紙の分別 /常時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域 環境活動	FSPJ参加・ 随時清掃作業実施	コロナ禍の為、不定期開催となる												○	
		○											○		
5Sパトロール	1回/月以上 各部のスケジュール に従って実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
訓練	安否確認訓練/年4回			○			○			○			○	○	
	避難訓練/年1回	コロナ禍の為、実施を控えた。 代わりに、11月AED講習会を実施。													
	消火訓練/年1回														
グリーン調達	優先的に購入 /随時													○	

○優 △良 一部改善 ×可改善

6. 2021年度 環境経営計画と評価

環境計画項目	担当 部署	区分		コメント
		前期	通期	
(1) 二酸化炭素の削減				
電気使用量の削減	全社	△		①2021年度の電気使用量は、前年と比べて目標-1%は達成できなかったが、売上9%増の中、CO2排出量は0.5%減と抑えることができた。 ②エアコン簡易点検を安全衛生委員会で管理する体制とした。 ③コロナ禍対策としてサーマルカメラやWEB会議、テレワーク用PC他付属機器を常時稼働させる必要がある為、電気使用量の大きな削減に繋げることができなかった。 ④DX、将来の人員不足対策等の推進により、工場の機械設備を導入し、電気使用量の大きな削減に繋げることができなかった。 ⑤外出を控え、WEB会議・WEB工場見学を推進、ガソリン使用量を削減したが、一方、電気使用量増の一因となる。 ⑥必要に応じた消灯や、ブラインドの活用など、節電の意識は、従業員に浸透してきている。 ⑦南陵での受託案件を外拠拠点工場で製造する場合も増え、資材や人員移動の為に車を動かしてガソリンを使用する量に影響を与えた。 ⑧事業拡大により、残業時間にも稼働する場合があり、電気使用が増える要因となった。
エアコン		○	○	
エアコンの設定温度を夏26°C冬22°Cに設定				
エアコンフィルター清掃/年3回		○	○	
エアコンの簡易点検を実施		○	○	
照明		○	○	
不在時の消灯				
常時稼働の電子機器を、 必要な時間に稼働という体制に変更する		○	○	
エコドライブ		○	○	
毎日5分間のアイドリングストップを行う				
ガソリン・LPG使用量の把握		○	○	
軽油使用量（2t車）の把握		○	○	
遠隔会議体制の促進	○	○		
残業時間の短縮	×	×		
LED電球への置換	○	○		
社用車のエコカーへの置換	○	○		
エコアクションに関するデータ取りの自動化の検討	検討中			
(2) 水使用量の削減				
使用量の測定と掲示	製造	○	○	①前年度に比べて、使用量が17%減少した。事業拡大、人員増だが、生活水としては節水を徹底継続し。事業活動での水利用については、工程改善を行い、時間短縮などの影響で節水に繋がっていると思われる。
節水の徹底		○	○	
(3) 廃棄物の削減				
外部からのごみ持ち込み禁止徹底と促進	全社	△	△	①事業拡大の為、最短半日というスポット入社の派遣社員も多く、外部からのゴミ持ち込み禁止が遵守されないこともある。 ②DX推進の一環として、工場の生産管理システム構築を検討している中で、iPad等を利用した電子帳票化の検討を開始し、トライアルを実施した。引き続き検討中。
資源回収を目的とした分別化を促進		○	○	
電子メディアの活用によるペーパーレス促進		検討中		
リサイクル使用の促進		○	○	
(4) コスト削減				
費用の削減	全社	○	○	各部にて、随時経費削減を意識した活動を展開中。予算管理については、体制が整わず進めることができなかった。
各部署における予算管理の意識付け		×	×	

6. 2021年度 環境経営計画と評価

環境計画項目	担当 部署	区分		コメント
		前期	通期	
(5) 地域環境活動				
社屋・倉庫周辺の清掃活動の実施	全社	○	○	①外部駐車場、外部倉庫等の清掃活動を実施 ②これまでのCSR活動をもとにして、SDGsへの取り組みへ転換し、開始。また、管理職宛のSDGs説明会を実施し、意識改革を行った。 ★フォレストセイバープロジェクト ・土木学会賞の最高位である環境賞を「自然と地域と交流する工業団地」として受賞 ・第7回富士宮市景観賞・最優秀賞を受賞
フォレストセイバープロジェクトへの参加		○	○	
(6) 教育訓練				
防災訓練 年1回	全社	×	×	①コロナ禍の為、防災訓練/消火訓練は実施できなかった。 ②AED講習会を実施。 ③教育訓練は随時実施中。
消火訓練 年1回		×	×	
AED講習会 1人1回以上		○	○	
定期教育 随時		○	○	
(7) 安全衛生委員会				
安全衛生委員会活動の他拠点への横展開を実施	全社	○	○	①安全衛生委員会の5Sパトロールとして、安全衛生管理を開始。各部での活動展開を実施する体制を整えた。 ②牧之原工場/レプロン配送センターでの5Sパトロールを開始。南陵本社と同じ形で管理運営中。
5Sパトロールの定期的な実施		○	○	
(8) 改善提案				
業務における改善提案活動の実施	全社	○	○	①業務改善提案精度による改善活動の実施。 ②生産性向上委員会での見える化を意識した活動中。 ③システム会社と連携してDXプロジェクト推進中。2022年度にシステム導入開始予定。
生産性向上委員会活動の継続・強化		○	○	
生産管理システム構築によるDX化推進			対応中	
(9) 危険因子排除対策				
各部門におけるKYTの計画的実施	全社	○	○	①KYTについて、実施した場合は報告する体制を構築。2022年度は、各部での運営に変革し、継続する予定。 ②リスクアセスメントとは何かの教育を数回実施。 ③ヒヤリハット報告については活動できなかった。
リスクアセスメントによる危険因子の洗い出し		△	△	
ヒヤリハット報告の体制を構築		×	×	
(10) コロナ禍対策				
手洗い・うがいの徹底、検温の励行	全社	○	○	ひきつづき、マスク着用、手洗い・うがいの徹底、検温の徹底を実施中。またサーマルカメラによる検温システムも継続中。
ソーシャルディスタンス対策		○	○	
外出の自粛と、遠隔会議の励行		○	○	

7. 2022年度 安全衛生委員会 年間予定

基本方針	全社員が安心して働ける安全な職場づくりを推進する。
目標	安全衛生に関わる社内の取り組みを体系化し、計画的かつ効果的な職場改善を行うための基盤を構築する。

実施項目	活動日程（実施月○）												補足説明事項
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	

毎月の実施項目													
安全衛生委員会の開催（全体）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毎月第3水曜日。テーマは安全衛生、防災、環境等。
災害事例の通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	災害発生時および安全衛生委員会にて随時情報共有。
安全衛生委員会等による職場パトロール	打合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	安全衛生上のリスク、5S、消防設備等のパトロール
職場安全会議の開催	管理本部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	各部門からの報告が必要（会議実施日等の報告）
	製造本部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	倉庫本部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
フォークリフトの自主点検の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	日常点検は毎日、月次点検は毎月実施
フォークリフト講習の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	倉庫本部、製造本部

その他の実施項目													
安全管理者、衛生管理者の確保・充足	コロナ感染防止を加味しながら対応を検討												
安全衛生教育の実施	○	随時											4月および随時（雇入時・作業内容変更時）
防災備蓄品の管理	各地点の状況を随時把握して管理												備蓄品の内容・数量・期限を管理。棚卸時期を年〇回と決定したい。
KYTの実施	○	5月以降は各部署で実施。											4月：新入社員向けの教育。各部署：年間計画・実施報告を提出。
リスクアセスメントの実施													実施方法・年間計画を事務局で検討
防災訓練の実施、防火設備法定点検 <small>※コロナ禍の状況により通報訓練に代えることもある。</small>							○					○	地震避難訓練（通常設定：9月） 消火訓練、警報装置の確認・非常用設備の点検
AEDバッテリー交換	☆												2年に1回実施（六：2023年度実施予定）
AED講習													1度も受けたことがない従業員に対し、実施
安否確認システムの運用テスト			○				○					○	6/6月、9/5月、12/5月、3/5月の4回実施
作業環境測定の実施	照度						○					○	照度法定点検頻度：6ヶ月に1回以上 ※南陵工場：品質管理部が3か月毎に照度測定を実施
	粉じん												※確認中
	騒音												※確認中
健康診断/事後措置の実施			○				○	○					6月：実施、9・10月：問題判明者への通達、産業界への報告
ストレスチェックの実施												○	
交通安全運動の実施	○						○						
安全運転講習会								○					警察署へ実施依頼
年度末レビュー・2023年度計画の策定											○	○	事務局

SDGs・エコアクション21 活動													
フロン排出抑制法に関する法定点検 (3か月毎簡易点検)	○			○			○				○		3か月に1回、[静岡ビルサービス]により、「法令に従った全エアコンの簡易点検」を兼ねて、定期点検実施。
電気使用量削減 <small>夏季：室内26℃/後期：室内22℃</small>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	休憩時消灯/常時・冷蔵庫管理
ガソリン・LPG使用量削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	相乗り・アイドリング禁止
水使用量削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	蛇口の点検：年3回
廃棄物削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	外からのゴミ削減・コピー配紙削減・紙の分別
地域環境活動・FSPJ・社内清掃活動	○		○									○	4月：新入社員教育 / 6月：野外活動 / 他 随時開催
グリーン調達 奨励	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	優先的に購入を随時実施
エコアクション審査対応	○	○	○								○	○	4、5月：事前準備 / 6月：審査 / 年度末レビュー

8. 2022年度 環境計画 取組み予定

環境計画項目		2022年度取組み予定
(1) 二酸化炭素の削減		
電気使用量の削減		継続実施
空調	エアコンの設定温度を夏26℃冬22℃に設定	継続実施
	エアコンフィルター清掃/年3回	継続実施
	エアコンの簡易点検を実施	継続実施
	照明	不在時の消灯
常時稼働機器を、必要な時間に稼働という体制に変更する		方針検討、運営体制構築
エコ ドライブ	毎日5分間のアイドリングストップを行う	継続実施
	ガソリン・LPG使用量の把握	継続実施
	軽油使用量（2t車）の把握	継続実施
	遠隔会議体制の促進	継続実施
	残業時間の短縮	強化実施
LED電球への置換		継続実施
社用車のエコカーへの置換		継続実施
エコアクションに関するデータ取りの自動化の検討		方針検討、運営システム化
(2) 水使用量の削減		
使用量の測定と掲示		継続実施
節水の徹底		継続実施
(3) 廃棄物の削減		
外部からのごみ持ち込み禁止徹底と促進		継続実施
資源回収を目的とした分別化を促進		継続実施
電子メディアの活用によるペーパーレス促進		継続検討、システム構築、運営開始
リサイクル使用の促進		継続実施
(4) コストの削減		
費用の削減		継続実施
各部署における予算管理の意識付け		方針検討
(5) 地域環境活動		
社屋・倉庫周辺の清掃活動の実施		継続実施
フォレストセイバープロジェクトへの参加		継続実施
(6) 教育訓練		
防災訓練/消火訓練 年1回		実施
安否確認テスト 3か月毎実施		継続実施
AED講習会 1人1回以上		実受講者への講習実施
定期教育 随時		継続実施
(7) 安全衛生委員会		
安全衛生委員会活動の他拠点への横展開を実施		継続実施
5Sパトロールの定期的な実施		各部毎に継続実施
(8) 改善提案		
業務における改善提案活動の実施		継続実施
生産性向上委員会活動の継続・強化		継続実施
生産管理システム構築によるDX化推進		継続検討、システム構築、運営開始
(9) 危険因子排除対策		
各部門におけるKYTの計画的実施		各部での運用へ移行し、実施
リスクアセスメントによる危険因子の洗い出し		意思統一と方針決定、可能なら実施へ
ヒヤリハット報告の体制を構築		システム構築と、各部での運用開始
(10) コロナ禍対策		
手洗い・うがいの徹底、検温の励行		継続実施
ソーシャルディスタンス対策		継続実施
外出の自粛と、遠隔会議の励行		継続実施

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

評価日 2022年5月28日

評価者 環境管理責任者 佐野尊信

法律・条例	条項	遵守事項または規制基準	当社の運用及び対応	遵守評価		
法令	騒音規制法	第5条	規制基準値の遵守	騒音の測定（市及び自主検査）	○	
		第6条	特定施設の届出	2021年11月～3月:スクロールコンプレッサーに差替え（4台）	確認中	
		第8条	特定施設の数等の変更の届出	現在業者にて対応確認中		
	振動規制法	第5条	規制基準値の遵守	騒音の測定（市及び自主検査）	○	
		第6条	特定施設の届出	2021年11月～3月:スクロールコンプレッサーに差替え（4台）	確認中	
		第8条	特定施設の変更等の届出	現在業者にて対応確認中		
	浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検及び清掃の実施	保守点検及び定期清掃の実施	○	
		第10条の2	浄化槽の使用開始報告書の提出	使用開始から30日以内に県知事へ提出	○	
		第11条	指定検査機関による水質に関する検査の実施	法定検査の実施（1回/年）	○	
	廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託処理	市条例の収集・処理基準の遵守	○	
		第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○	
		第12条第5項	産業廃棄物の委託処理	収集運搬及び処分許可業者への委託	○	
		第12条第6項	運搬又は処分を委託する場合の処理基準の遵守	処理業者と契約契約書の締結	○	
		第12条の3第1項	マニフェストの交付		○	
		第12条の3第2項	マニフェストの保管	A票、5年間保管	○	
		第12条の3第6項	マニフェストの保管	B2、D、E票の5年間保管	○	
		第12条の3第7項	マニフェスト交付状況の知事報告	6/30までに報告書提出	○	
	消防法	第9条の4	少量危険物及び指定可燃物の貯蔵及び取扱基準	市町村条例で定める指定可燃物：紙屑、プラスチック類等	○	
		第11条	指定数量以上の危険物保管の届出	指定数量以上の危険物の保管の消防署への届出	○	
		第13条	危険物の取扱作業に関して保安の監督	危険物取扱者の設置	○	
第17条の3		消防用設備等の点検及び報告	消火設備の定期点検	○		
家電リサイクル法（特定家庭用機器再商品化法）	第6条	特定家庭用機器廃棄物の収集・運搬をする者等への適切な引き渡し、料金の支払	指定家電廃棄時のサイクル料金の支払	該当なし		
自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化等に関する法律）	第8条	使用済自動車の引渡義務		○		
	第73条	使用済自動車の引き取り業者への引き渡し	リサイクル料金の支払（廃車時）	○		
フロン排出抑制法	第41条	第1種特定製品の点検と廃棄等実施者の引渡義務	製品管理者のフロン類回収業者へのフロン類の引き渡し義務 懸念点検の実施（3ヶ月に1度）	○		
その他	薬事法	42条	製造における化粧品使用薬品基準の遵守義務	化学物質とその基準	○	
	薬機法	—	製造販売事業者の要件 成分表示ルール 誇大広告禁止	化粧品製造許可	○	
	食品衛生法	—	製造における食品衛生基準の遵守義務	衛生上危害の防止とその基準	○	
静岡県条例	静岡県生活環境の保全等に関する条例	第52条	騒音基準の遵守義務		○	
		第53条	騒音特定施設の届出	2021年11月～3月:スクロールコンプレッサーに差替え（4台）	対応中	
		第55条	騒音特定施設変更の届出	現在業者にて対応確認中		
		第79条	振動基準の遵守義務		○	
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第80条	振動特定施設の届出	2021年11月～3月:スクロールコンプレッサーに差替え（4台）	対応中	
		第82条	振動特定施設の変更等の届出	現在業者にて対応確認中		
責務・努力	法令	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第82条	産業廃棄物管理責任者の設置	○	
		環境基本法	第8条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		地球温暖化対策推進法	第5条	自主努力義務、行政への協力	EA21の取組	○
		循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進	廃棄物の分別、行政への協力	○
		リサイクル法（資源の有効な利用の促進に関する法律）	第4条	指定再資源化製品のリサイクルへの協力（適正廃棄）	パソコン、小型二次電池等の廃棄時	該当なし
		グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）	第5条	事業者の責務（国等の施策への協力等）	物品の購入、借り受け等する場合の環境物品等の選択	○
		省エネ法（エネルギーの使用の合理化に関する法律）	第4条	省エネの自主努力	省エネ型モーターへの切替え	○

(2) 違反、訴訟等の有無

当社に対し関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による全体評価

(1) 前年度見直し項目の確認

項目	確認	評価、コメント
1 エコアクション21文書	○	記録・文書を確認しました。
2 環境目標及び環境目標達成状況	○	電力・LPガス・軽油・廃棄物排出量が未達を確認しました。
3 環境活動計画及び取り組み実施状況	○	コロナ禍の為、防災訓練未実施でした。
4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	○	エアコンの簡易検査を開始していることを確認しました。
5 外部コミュニケーション・対応記録	○	特に問題ないことを確認しました。
6 問題点の是正・予防措置の実施状況	○	是正対応、予防措置を継続中であること確認しました。
7 業界、関係行政機関他、外部動向	○	外部動向を踏まえて活動していることを確認しました。
8 その他（ ）		

(2) 2022年度見直し指示項目

見直し項目	変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
1 環境方針	有	鈴与(株)の「共生」の精神を基本として、SDGsへの取り組みを踏まえた環境方針へ変更すること
2 環境目標	有	未達成になった要因を把握し目標の立て方を検討すること
3 環境活動計画	有	未達成の目標については改めて活動計画を見直し、手段を増やすこと
4 環境に関する組織	有	全社員への意識付け強化を行い、引き続き安全衛生委員会を中心となって、活動を推進すること。
5 その他のシステム要素	有	DX推進として、エコアクションに関するデータの取得など自動的にできる体制に変革すること
6 その他（外部への対応）	有	南陵工業団地・近隣地域・鈴与Gとの「共生」の精神を基本として、SDGsへの取り組みを推進すること

10. 代表者による全体評価

2021年度もコロナ禍の影響が残り事業の変動が大きかったが、売上9%増で事業拡大し、従業員も1.3倍に増員した為、昨年からの比較-1%という目標が4項目について未達でしたが、SDGsへの取組の一環としてDX推進を意識した活動への変換をすることができました。拡大した事業活動と増員割合を鑑みると、DX推進により各種のIT機器や工場機械を導入しているものの、電力を0.5%増にとどめることができ、実質的に目標達成できていると思料します。

製造部門では、生産管理システム構築プロジェクトで帳票の電子化をトライアル実施など効率化/DX化を推進、倉庫部門では空間の有効活用をするハイブリッド化をさらに推進し、状況が見える化して管理運営する体制を構築・運営するなど、作業効率を上げてかつ安全な作業を基本とした事業活動を展開しています。

また管理部門として、生産性向上委員会にて、2021年度製造部門・倉庫部門の業務最適化/稼働率の向上を目標にしたKPIの設定をすることができ、環境に配慮した事業活動が見える化して展開しています。安全衛生委員会では、外部拠点と連携をした活動へ展開し、会社全体のエコアクション活動に繋げ、作業環境の改善や5Sパトロール等を推進し、運営体制の強化を行うことができました。

今後もさらに鈴与グループ・南陵工業団地・近隣地域との「共生」を基本としたSDGsへの取組の一環として、エコアクション活動に取り組んでまいります。

2022年5月28日

富士宮通運株式会社

代表取締役社長 鈴木 伸一



11. 環境改善活動のようす

①SDGsへの取り組み

SDGs 学習会



<SDGs 概要>

1 SDGs とは Sustainable Development Goals
SDGs (持続可能な開発目標) : 2015年9月採択。2030年までの新たな目標~17の目標と

○MDGsの課題

- ・ 各国や地域の事情に配慮せず
- ・ MDGsで
- 体力

○SDGsの考え方

- ・ 「開発：経済を
➢ 経済を発
➢ 環境を顧
・ 社会的な課題と
・ 気候変動・海・陸

2 サステナビリティ とは

- 地球環境と人間社会が良好な関係を保ちながら共存し、発展し続けていこうとする考え方
- SDGsはサステナビリティの考え方を、具体的な目標に落とし込んだもの

<サステナビリティ実現のために重要な 3つの観点>

- ①環境・資源 伐採により減少する森林、鉱物資源、海洋環境、気候、野生生物の多様性などを守り、持続させること
- ②人間社会 教育格差、ジェンダー差別、難民などの問題を解決し、多様性のある未来を作ること
- ③経済 労働環境格差、貧富の格差、不十分な社会保障を見直し、世界中の人々が恒久的に安定した暮らしを送る

11. 環境改善活動のようす

15 陸の豊かさも
守ろう



②SDGs

目標15 「陸の豊かさを守ろう」

～南陵の森FSPJ

(フォレストセイバープロジェクト)

工業団地にある十数社の企業が協力をし、
SDGsの取組の一つとして、

『富士山南陵の森 FSPJ』

を推進しています！

2019年度 「第20回中部の未来創造大賞・優秀賞」 受賞

2020年度 「エンジニアリング功労者賞」 受賞

2021年度 「土木学会賞・環境賞」 受賞

2021年度 「第7回富士宮市景観賞・最優秀賞」 受賞



「南陵の森

フォレストセイバー

プロジェクト (FSPJ) 」

を通してのSDGs学習



11. 環境改善活動のようす

②南陵の森FSPJの様子



新入社員研修

★南陵の森の
しくみを知る

FSPJ企業の森活動

★巣箱づくり



FSPJ企業の森活動

★雑草伐採・植樹



南陵の森FSPJ（フォレストセイバープロジェクト）

第7回 **富士宮市 景観賞 最優秀賞** 受賞！

令和三年度

第七回 富士宮市景観賞

最優秀賞 富士山南陵工業団地・周辺緑地
「富士山南陵の森」

優秀賞 Mt. Fuji Brewing

優秀賞 富士宮駅前通りおかみさんの会
「駅前十六市」

優秀賞 富士山御神火まつり神輿部会



富士宮市
令和4年2月

南陵の森FSPJ（フォレストセイバープロジェクト）

第7回 富士宮市 景観賞 最優秀賞 受賞！

最優秀賞

景観づくり活動部門

富士山南陵工業団地・周辺緑地「富士山南陵の森」

活動団体：一般社団法人富士山南陵の森フォレストセイバー

活動開始時期：平成22年4月7日～



所在地：富士宮市南陵

工業団地の造成で一旦失われてしまった森を、工場の敷地内に緑地帯として設けるのではなく、工場敷地の周辺に植樹することにより復活させています。平成21年に市民を中心に1,900人が参加して植樹した樹木が育ち、自然と共生する工業団地の象徴となっています。

平成22年に完成した工業団地に進出した企業からは、森づくり基金への出資を募り、それを原資に産官学民が連携する形で、森づくり活動が現在も継続的に行われ、生物多様性に富んだ森が形成されつつあります。

12年間にわたり、工業団地進出企業の従業員やその家族、地域住民等が参加し、森の維持管理、育成と良好な景観づくりをする努力をされているところが高く評価されました。



11. 環境改善活動のようす

③環境整備

FSPJ企業の森活動

★笹竹の排除



FSPJ企業の森活動

★ゴミ拾い活動

★歩道整備



★駐車場整備

11. 環境改善活動のようす

④FSPJ 有志活動

(有志活動) 森森クラブ



森に自生する木から虫よけスプレーや佃煮、紅茶を作りました。



私たちが普段仕事をしている「南陵」には、南陵工業団地の企業が協力して育てている「南陵の森」があります。工業団地ができたばかりの頃は、荒地の状態でしたが、今ではとても多くの草木や花、鳥、虫がいます。とても貴重で、奇跡に近い動植物が生きる環境にもなりました。

私たちは、「企業の森」である「南陵の森」で、鳥や虫・草花とふれあい、「共に生きている」時間を感じ、楽しみたいという思いで活動を開始しました。

将来の大人(=子供たち)に誇れる森になるといいなと思います。

今後の活動予定

- 山椒の實で佃煮を作って食べよう *
- クロモジ茶を作って、飲もう！ *
- 山椒の虫よけスプレーを作ろう *
- よもぎ石鹸をつくろう
- 草木染めを体験したい
- アロマキャンドルを作ろう
- 野草のお菓子を作ろう。よもぎ餅も食べれるよ。
- どんぐりコーヒーって美味しいんですよ！
- 薪をさがして、火をおこすってかっこいいよねー
- アウトドアウェアって、結構簡単に作れるんだな☆

などなど、一緒に森を育て、探検しませんか？

7/25

第1回目

*やりました！



【一緒にやりたい人、ほんの数時間でもOK、ご家族お友達、参加自由です～】

連絡先: 富士官理運株式会社 原賀 紀都美 dyjb_nataukn13@icloud.com
株式会社サトウ 宮川 裕美子 zxgw2wk5@outlook.jp

11. 環境改善活動のようす

3 すべての人に
健康と福祉を



⑤健康経営優良法人認証取得

2022年03月14日掲載

カテゴリ：[会社からお知らせ](#)

去年の10月に宣言した健康づくり宣言について、健康経営優良法人2022（中規模法人部門）に内定致しました。従業員の皆様は今一度健康について考え行動してください。

- ・禁煙する
- ・運動量を増やす
- ・食生活を見直す

健康になるためには様々な方法があると思います。少しでも健康になり健やかな人生を送れるように会社でもサポートします。

皆で健康になり労働生産性の向上を目指しましょう。



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

健康づくり担当者 塩川

⑥ふじのくに健康づくり推進事業所宣言

めざせ！健康寿命
日本一！



ふじのくに健康づくり推進事業所宣言

- ・健康づくりについての職場環境を整備
- ・従業員の定期健診の再度検査の受診率向上
- ・メンタルヘルス対策の検討及び推進

健康について考え実践していきましょう♪

2021年 10月 21日

企業・事業所名 富士宮通運株式会社

静岡県

11. 環境改善活動のようす

⑦啓発活動



★交通安全運動



★リフト講習会



★AED講習会

★社内ニュース発信

化粧品・定期ニュース

化粧品全12ラインに生産進捗ボードを設置

ライン上のセンサーにより生産数をカウント
生産数の見える化

- ◆生産状況を随時把握することができ、工場担当者が効率よく段取りできる
- ◆作業員の意識向上に繋がる

計画 1200
実績 1204
進捗 100.3

今後は生産管理システムを導入予定
⇒当社では書類のデジタル化を積極的に進めていきます



★「ミッションZERO」

11. 環境改善活動のようす

⑧改善活動

★DXツール
トライアル



★コロナ対策
黙食奨励



★自動ラップ巻機



★ガードパイプ
設置



★歩行帯分離
見える化



★ロボットアーム検討会



11. 環境改善活動のようす

⑨ 営業活動のDX

～ホームページリニューアル・PR動画作成

富士宮通運株式会社 WEBサイトのご案内

富士宮通運(株)ではホームページを立ち上げております。
弊社事業の紹介も順次アップしていきますので、ぜひ見に来てください◎



富士宮通運ホームページ
<https://fujinomiya-tsuun.co.jp>



GMP遵守の高品質×高い生産性をご提案

- 日健栄協GMP (製薬GMP) 認証取得
- 化粧品GMP ISO22716 認証取得
- 医薬部外品製造業 (一般及び包装・表示・保管) 許可取得

日健栄協GMP (製薬GMP)、化粧品GMP、医薬部外品製造許可 (一部区分) 取得
清涼食品・化粧品・医薬部外品の品質特性に配慮した生産体制を構築しております。

！富士宮通運の社員ブログで、毎日を紹介！

- * 「今日の富士山」
- * 製造部・倉庫部などの紹介
- * 社員の日常
- * 先輩スタッフの紹介
- など
- & 就活生へのコメント



PR動画

<https://youtu.be/Gr1n9QH8CwE>

